

佐久良城(別名無)(指定無)(蒲生郡日野町大字佐久良)

佐久良城は、戦国時代の前半、現在の永源寺(東近江市)から桜谷(日野町)一帯に勢力を誇った小倉左近将監実澄の「私亭」として記録されており、応仁の乱の際、京から避難した相国寺の学僧を実澄が招いた城であるとも伝えられています。

佐久良城跡は日野町北部に位置する佐久良地区の丘陵にあり、城跡の近隣には実澄の菩提を弔うために建立された仲明寺、小倉家が蒲生家から養子実隆を迎えたために起こった内紛の際に一派が籠城したと伝えられる鳥居平城跡があります。

佐久良城は約50メートル四方の主郭の周辺に土塁を巡らせ、また、高低差をつけた大規模な堀切や虎口を守る曲輪を設け、石積も使われています。現在でも、これらのさまざまな遺構が残されています。

日野町ホームページによる

